

第8章 外注費の状況

- ・事業の外注を行っている企業比率は62.1%で、前年度に比べ▲1.8ポイントの低下。鉱業を除くすべての産業で低下。
- ・売上原価に占める外注費の割合は、11.6%で、前年度に比べ0.2ポイントの上昇。サービス（*）業、クレジットカード・割賦金融企業、電気・ガス業、小売業の4産業で上昇。

1. 企業の外注状況

事業の外注を行っている企業は、1万6642社、外注企業比率は62.1%で前年度に比べ▲1.8ポイントの低下となった。鉱業を除くすべての産業で低下となった。外注企業比率の高い産業は、情報サービス・情報制作企業（外注企業比率87.7%）、製造企業（同82.1%）、電気・ガス企業（同68.8%）の順となっている（第8-1表）。

第8-1表 産業別の外注状況

	企業数	外注費記入企業数	外注企業比率(%)	外注費(億円)	うち関係会社への外注費(億円)		1企業当たり外注費(百万円)	売上原価に占める外注費の割合(%)
					うち関係会社への外注費(億円)	うち関係会社への外注費割合(%)		
合計	26,813	16,642	62.1	323,140	69,706	21.6	1,942	11.6
鉱業	38	26	68.4	115	20	17.7	442	5.4
製造業	13,235	10,871	82.1	214,275	51,417	24.0	1,971	11.6
卸売業	5,948	2,039	34.3	22,005	4,908	22.3	1,079	4.9
小売業	3,597	1,128	31.4	6,247	1,176	18.8	554	4.3
飲食店	551	76	13.8	427	214	50.1	562	6.8
電気・ガス業	109	75	68.8	10,706	3,143	29.4	14,274	8.8
クレジットカード業・割賦金融業	70	18	25.7	544	183	33.7	3,019	9.9
情報サービス・情報制作業	1,943	1,704	87.7	46,938	6,600	14.1	2,755	35.3
個人教授所	43	15	34.9	50	2	3.6	332	5.4
サービス業(*)	1,279	690	53.9	21,834	2,043	9.4	3,164	28.8

(注1)外注企業比率=外注費記入企業数/企業数×100

(注2)サービス業(*)については、第1表脚注参照のこと。

2. 製造企業の外注状況

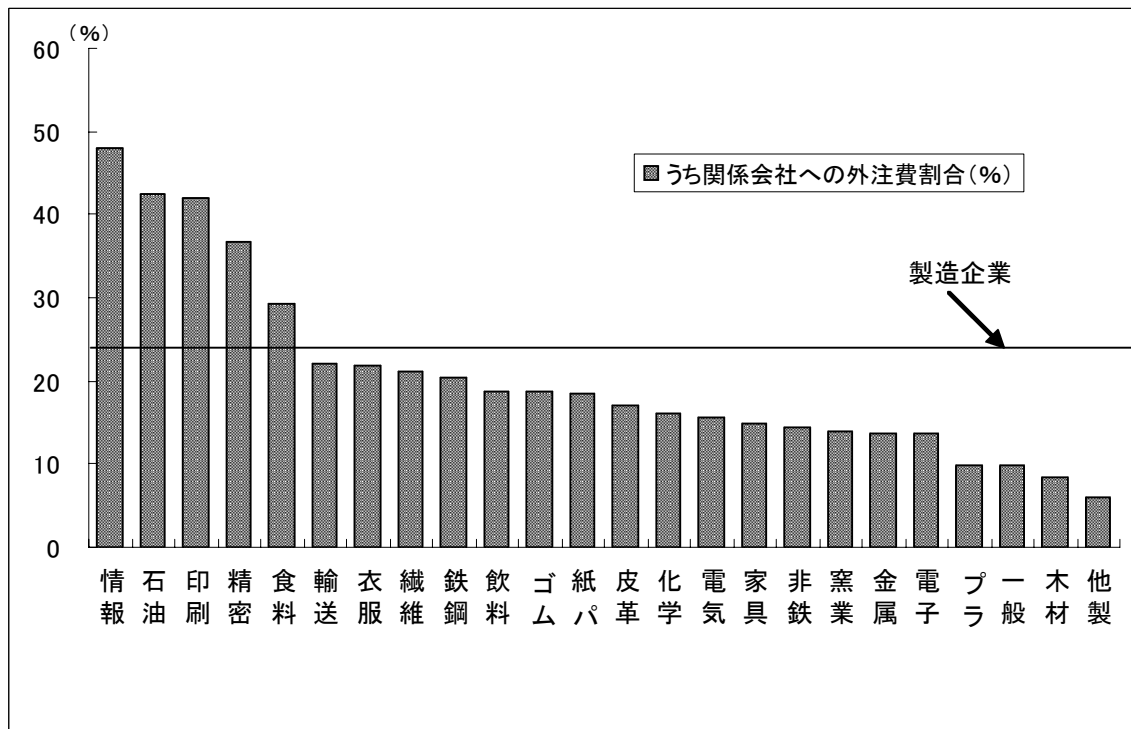
製造企業についてみると、外注企業比率の高い業種は、印刷・同関連産業（同94.8%）、一般機械器具製造業（同93.0%）、輸送用機械器具製造業（同91.8%）、情報通信機械器具製造業（同90.5%）の順で、この4業種で外注企業比率が9割以上となっている。

1企業当たり外注費の高い業種は、情報通信機械器具製造業が最も高く83億円、以下石油製品・石炭製品製造業、印刷・同関連産業、輸送用機械器具製造業、鉄鋼業の順で、これらの産業では30億円超となっている。

また、外注費に占める関係会社への外注費の割合は、製造業全体で24.0%で前年度差▲0.1ポイントの低下となっており、一般機械器具製造業（前年度差▲12.9ポイント低下）、窯業・土石製品製造業（同▲11.5ポイント低下）、飲料・たばこ・飼料製造業（同▲10.4ポイント低下）などで低下した。関係会社への外注比率が高い業種は、

情報通信機械器具製造業（関係会社外注比率48.0%）、石油製品・石炭製品製造業（同42.4%）、印刷・同関連産業（同41.9%）の順で、これらの業種では4割を超えている（第8-1図）。

第8-1図 製造企業の関係会社への外注費割合



3. 売上原価に占める外注費の割合

売上原価に占める外注費の割合（外注費／製造原価または売上原価）は、11.6%で前年度に比べ0.2ポイントの上昇となった。小売業（売上原価外注費割合4.3%）、電気・ガス業（同8.8%）、クレジットカード・割賦金融企業（同9.9%）、サービス（*）企業（同28.8%）の4産業が上昇となった。一方、製造企業（同11.6%）など6産業が低下となった。（第8-1表）。

製造企業についてみると、印刷・同関連産業（売上原価比率47.6%）、精密機械器具製造業（同23.0%）、一般機械器具製造業（同19.1%）、情報通信機械器具製造業（同18.6%）の順に高く、石油製品・石炭製品製造業（同1.5%）、飲料・たばこ・飼料製造業（同2.7%）、食料品製造業（同3.9%）などでは低いものとなっている（付表19）。

第8-2図 製造業の1企業当たり外注費と売上原価外注費比率

